

武蔵野市学校部活動の地域連携・地域移行に向けた方針及び計画等

1 武蔵野市学校部活動の地域連携・地域移行に向けた方針及び計画の策定の目的

「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」（令和5年3月・東京都）及び「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」（令和6年3月改訂版・東京都）を踏まえ、武蔵野市の学校部活動に関する課題の解決を図り、武蔵野市の実態に合った地域連携・地域移行を実現するため、令和5年度から令和7年度までの改革推進期間における取組の展望を明らかにし、武蔵野市公立中学校等の休日等における部活動の地域連携・地域移行を推進することを目的として策定する。

2 地域連携・地域移行に向けた推進目標

令和7年度末までに、武蔵野市の全ての公立中学校等で、地域や学校の実態に応じ、地域連携・地域移行に向けた取組が行われていることを目指すとともに、部活動指導員の拡充を進めていくことで、教員の部活動における負担の段階的な軽減を図る。

3 現状と課題

（1）武蔵野市公立中学校における部活動の実態

- ・市として令和4年度に行ったアンケート結果では、多くの児童・生徒・保護者が、部活動は、学習意欲向上、責任感や連帯観の涵養、好ましい人間関係の形成に資する等、生徒が豊かな学校生活を送るうえで大きな教育的意義があると考えており、生徒にとって部活動は、重要な居場所の一つとなっている。
- ・生徒の部活動加入率は90%程度である。
- ・各中学校では7～10程度の部活動を設置して活動している。チーム競技においては、各校の実態に応じて合同チームを編成して活動している。

（2）部活動に対する教員の実態

- ・多くの部活動で教員が顧問として指導に当たっている。
- ・希望する部活動の指導に関わることで、教職にやりがいを感じている教員が一定数いる。
- ・一方で、土日を含む部活動指導について、負担を感じている教員も一定数いる。

(3) 地域連携・地域移行に向けた取組の状況

- ・市内全学校において、生徒及び児童（小学校第6学年）、教員、保護者を対象として、部活動の在り方に係るアンケートを実施（令和4年度）
- ・部活動指導員の拡充
- ・武蔵野市において、基幹となる部活動の設定（令和6年度）
- ・拠点校方式による合同部活動の設置計画等の作成（令和5年度～令和6年度）
- ・武蔵野市文化生涯学習事業団に地域連携支援業務を委託し、部活動コーディネーターを配置
(令和6年度)

(4) 大会の参加の資格等

- ・東京都中学校体育大会実施要項等、各種大会等の実施要項に準ずる。

4 地域連携・地域移行に向けた方針及び計画

(1) 方針

- ・部活動は、学習指導要領で学校教育の一環として位置付けられていることから、当面は学校管理下において行う部活動として、学校を中心とした着実な地域連携を進める。
- ・S(科学)T(技術)E(工学)A(芸術)M(数学)に関連した活動に取り組み、市の事業（サイエンスフェスタ）において、1年間の取組成果の発表を行う部活動を地域移行のモデル部活動（STEAM部）として設置し、部活動の地域移行に係る検証を行う。

(2) 計画

本市は、令和元年度より、部活動の検討委員会を設置し、部活動の在り方及び地域連携・地域移行に向けた検討を丁寧に進めてきた。これまでの委員会による検討の結果を生かすとともに、令和6年度より公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団に委託・配置した部活動コーディネーターとの連携により、武蔵野市学校部活動の地域連携・地域移行に向けた取組を着実に進めていく。

[令和5年度まで]

<学校・検討委員会>

- ・児童・生徒・保護者へのアンケート等を基に、部活動の在り方に係る検討を実施
- ・部活動の地域連携・地域移行における諸課題の把握を実施
- ・武蔵野市立学校部活動における地域連携・地域移行の方針を決定

[令和6年度]

<学校・検討委員会>

- ・学校部活動の地域連携・地域移行に向けた方針及び計画等を完成させる。
- ・拠点校方式による合同部活動計画を完成させる。
- ・生徒・児童（小学校第6学年）・保護者への上記計画に関する説明資料を完成し、広報を行う。
- ・希望する教員の兼業・兼職による指導体制計画の検討を行う。

<部活動コーディネーター>

- ・地域のスポーツ団体や文化芸術団体と連携し、人材リストを作成するとともに、学校のニーズ調査等に基づき部活動指導員を推薦することを委託する。
- ・部活動指導員に対しての体罰防止・熱中症予防等服務研修の実施及び評価を行うことを委託する。
- ・部活動指導員への専門性向上のための情報提供を行うことを委託する。

[令和7年度]

<学校・検討委員会>

- ・令和7年度下半期から、拠点校方式による合同部活動への移行を実施する。
- ・令和7年度下半期から、地域移行のモデル部活動（STEAM部）を設置する。
- ・地域連携等を実際に運用した際に出される課題の整理と解決策の検討

<部活動コーディネーター>

- ・地域のスポーツ団体や文化芸術団体と連携し、人材リストの充実を図ることを委託する。
- ・関係団体と学校との連絡調整を行い、部活動指導員の拡充を図ることを委託する。

5 地域連携・地域移行に係る成果指標

- ・生徒の部活動についての満足度の上昇
- ・教員が指導に携わらない部活動の増加
- ・教員の部活動への従事時間の縮減